

10/7 (火)

司会: 青木 美穂

テーマ 『教育実習Ⅱ, 副免許実習 報告!!』
(附属中・附属小)

瀬尾

音楽授業4時間

- ・もう少し自分で授業を構成しにかった。
- ・男子ノート(合唱で)が気に入って他まであまり見ることができなくなった。
- ・子どもたちからやりたいこと(内容)を決めること。
教師から指定せず、子ども自ら。
- ・子どもたちは歌いたがる。
(特に2, 3年生。1年生は、まだ教師に集中する。)
- ・清掃する習慣があまりつかない。
(時間が決まればくで、クラスの半分が交代して日替りとする。)
- ・交流給食のこと。←(特殊学級との自れ合い。)
- ・道徳・学活は指導案のみ。

週2, 3回。

森野

- ・最初の1週間が大変だった。(挨拶など)
- ・小学校の良い所と中学校の良い所が見えた。
- ・算数が難しかった(教え方) 小数×小数でも面積が出ることも分からせる。
- ・一斉の家庭科も難しかった。→言いたいセリフを全部書き出してみた。
- ・学活が上手くいかなかった。流れは考えてたほうがいい。
(温かい言葉)
- ・内容が盛りだくさんすぎて省いた。

郡山

- ・理科に意欲的。(子どもたちがよくのってくる。)
- ・一緒にやろうとすること。
- ・体育(ルールのないポロボール)大変。
↓
ルールがあることの大切さを学ばせる。
- ・音楽のつながり→
- ・子どもたちのテンションのあげ方。→子どもを活動に引き出すように。
(子どもたちが自ら活動するように)
- ・障害児の子どもとの関わり方の難しさ。

障害児に対する行動と
↑
うまいこととが得意な

・思いやりを持ちつつも
持っている。

・子どもたちの声かけが
嬉しい。

本倉

- ・初めての授業で。
- ・3年生担当。→ 中々集中力の高い生徒も見られる。
全体的には意欲的に取り組んでいる。
- ・注意の仕方 (少しづつからにかもしてはいら) 反省。
→ 生徒のやる気を失わせることもあるのでは。
- ・結局合唱の中にはまわっているものがあって嬉しかった。
- ・授業の細かい流れを把握しとくこと。(例: フォントを画するタイミング)
- ・生徒の気持ちを考えた言い方。(おさえつけばいい言い方。)
- ・合唱と鑑賞の結び付きの難しさ。
曲のつながり。

城間

- ・いろんな人と出会えたのがよかった。得るものがたくさんあった。
- ・音、算、図、道 → 面積の導入。
↓
- ・エーデルワイス (声の響き合い)
題材とのつながり。
- ・日々感動 (教官の言葉)。
- ・教官の親切さ。とても勉強にはなった。
- ・全ての教科が導入だったから、途中のつなぎの部分

矢野

- ・一年生担当。
- ・全体的なことに対して、子どもが静かにいえるのが大変。
↓
「静かにして。」は禁句 (決まりごと) ← 教官と教生との
約束ごと。
ほめることでやる気にはなる。静かにする。
- ・他のやり方を考える。
タングリンを使って → ゲーム制をもたせる。→ 徐々に定着する。
↓
- ・ほめて静かにさせることを忘れていた。
- ・道徳と国語の違い (自分の中での意識が「高まっている」状態。)
→ やってみてよくわかった。
- ・全員が発表できるよりは発表 → 子どもがのびのびしてくる。

『一斉授業を参観して』 (田中、上山、青山)

- ・中学校→合唱を見る時期が少し早かった。
自分がやることを想像して、勉強になった。
- ・個性のある授業で、それぞれがよかった。
- ・自分を振り返るいい機会になった。